

動物実験計画審査結果

動物実験責任者

所属 農学部 獣医学科

職名 教授

氏名 浅沼武敏 殿

宮崎大学長

菅沼龍夫

申請番号 2010 - 018 - 5

1. 動物実験課題名

獣医放射線学実習 (農学部獣医学科第6学年に開講している実習)

2. 実験期間

平成27年 4月 1日 ~ 平成28年 3月31日

- 計画書通り承認します。(以後、申請番号を承認番号とします。)
- 承認には計画の変更が必要であり、判定を保留します。
- 実験計画は承認できません。

委員会からの意見

備考

(様式2)

動物実験計画書 (更新)

2015年 3月 2日

宮崎大学 学長 菅沼 龍夫 殿

動物実験責任者

所属 (学部学科等)

農学部獣医学科

申請番号 2010-018-5

職名 教授

内線番号 7280

氏名 浅沼 武敏



1. 動物実験課題名 (具体的に記入してください。)
獣医放射線学実習 (農学部獣医学科第6学年に開講している実習)

2. 実験期間 開始予定 27年 4月 1日、終了予定 28年 3月 31日

3. 動物実験実施者 (実験責任者、飼養者等を含め動物実験に関わる全ての者の所属、職名、氏名を記入してください。)

氏名	所属	職名等	教育訓練受講履歴
浅沼 武敏	農学部獣医学科	教授	2008-3 清武
佐藤 裕之	農学部獣医学科	准教授	2009-2 木花
獣医学科6年生	農学部獣医学科	獣医学科6年生	

4. 動物実験の目的 (実験の具体的手法ではなく、目的の概要がわかるように記入して下さい。)

実際の犬を対象に、獣医学科6年生の学生にX線、超音波、CT装置と撮影法、読影に関する基礎知識を学ばせ、それぞれの特性を比較し、理解させる。X線装置、超音波、CT、MRI画像診断技術の基本的な原理や考え方を習得させたため、犬を鎮静または麻酔によって保定して撮影する。

使用動物種	系統	微生物学的品質	上記実験期間中 使用予定頭数	導入元
犬	ビーグル	コンベンショナル	1	自家繁殖

使用動物数の算出根拠
30名の学生に対して、一度に行えるX線撮影および超音波撮影の機械的な限界が2台のため、当研究室で飼育している犬が1頭のため。

遺伝子改変動物の導入 有(国内譲渡・国際譲渡) 無
譲渡元:
改変遺伝子名:

6. 使用施設 (飼育場所、実験場所にわけて記入。)
飼養管理施設 動物舎
実験室 附属動物病院棟X線室 H117、診察室 V104 および V106、CT室 (部屋番号無し)、産業動物教育研究センターG102MRI室

7. 倫理的基準に基づいた動物実験の分類 (カテゴリー)
A: 生物個体を用いない実験、あるいは微生物を用いた実験。
 B: 脊椎動物を用い、動物に対してほとんどあるいはまったく不快感を与えないと思われる実験。
 C: 脊椎動物を用い、動物に対して軽度のストレスまたは痛み(短時間持続するもの)を伴うと思われる実験。
 D: 脊椎動物を用い、回避できない重度のストレスまたは痛み(長時間持続するもの)を伴うと思われる実験。
 E: 無麻酔下の脊椎動物に、耐えうる限界に近い またはそれ以上の痛みを与えると思われる実験。

8. 特殊実験区分 (詳細を9-(1)欄に、具体的な安全対策を9-(2)欄に記載)

- 感染実験 安全度分類: BSL1 BSL2 BSL3(接種微生物)
- 遺伝子組換え動物 作成実験 接種実験 (区分: P1A P2A P3A)
- 放射性同位元素・放射線使用実験(飼育場所: 動物舎 使用核種: X線)
- 化学発癌・重金属・環境汚染物質・毒劇物等投与実験(投与物質名)
- 細胞等の生体材料移植・接種実験

9. その他必要または参考事項
(飼養保管施設・実験室の承認状況に加えて、過去の動物実験計画書承認実績、学内の関連委員会(組換え等)への申請状況、飼養保管施設・実験室の承認状況なども適宜記入。)
 項目6に記入した飼養保管施設は、宮崎大学学長の承認を受けた施設である。
 項目6に記入した実験室は、宮崎大学学長の承認を受けた施設である。
 遺伝子組換え実験安全委員会、 医の倫理委員会、 その他()に申請済み。
承認番号()
 その他特記事項 (具体的に記入)

前回許可を受けた実験計画を変更せず継続して実施する場合、本書式に経過報告書を添えて更新申請を行って下さい。

受領日 H27.3.3

審査結果通知日

(様式5)

動物実験 経過報告書・**終了届**

※いずれかに必ず○を付けてください。

平成 28 年 4 月 7 日

宮崎大学長 殿

動物実験責任者

所属 (学部学科等) 農学部獣医学科

承認番号 2010-018-5

職名 教授

内線番号 7280

氏名 浅沼武敏



1. 動物実験課題名 (承認を受けた課題名を記入してください)
 獣医放射線学実習 (農学部獣医学科第6学年に開講している実習)

2. 実験実施期間
 予定期間 27年 4月 1日 ~ 28年 3月 31日
 実際の期間 27年 4月 1日 ~ 28年 3月 1日

3. 使用動物		期間中使用 予定頭数	実際の 使用頭数	予定数との 差
動物種	系統			
犬	ビーグル	1	1	0

4. 実験動物の使用予定頭数と実際の使用頭数との間に大きな差があった場合、その理由を記して下さい
 実習に供していたビーグル犬が胸部腫瘍の転移により多臓器不全に陥り、死亡した (平成 28 年 2 月 29 日)。このため、実際の期間が短縮し、犬を用いた獣医学科6年生のための獣医放射線学実習の内容を変更することになった。

5. 動物実験の結果: 計画どおり実施, 一部変更して実施(変更届が提出されていること), 中止
その他 (具体的に)
 結果の概要
 獣医学科6年生の獣医放射線学実習にて、無麻酔保定によるX線撮影、吸入麻酔によるCT、MRI撮影を行った。

6. 研究成果の公表 (予定、準備中の場合は、その時期も記入して下さい)
 (1) 学会等発表 (学会等名、開催期間・場所、演題名、演者名を記入してください)
 (2) 論文発表 (雑誌等名、年・巻、論文題名、著者名を記入してください)
 (3) その他 (教育講演等について時期、タイトル、場所等の情報を記入してください)
 獣医放射線学実習 (農学部獣医学科第6学年に開講している実習)

※記入欄に内容を記入しきれない場合は、用紙を足して記入して下さい。

受領日 28.4.15

動物実験計画審査結果

動物実験責任者

所属 農学部 獣医学科

職名 教授

氏名 浅 沼 武 敏 殿

宮崎大学長

菅 沼 龍 夫

申請番号 2010 - 018 - 4

1. 動物実験課題名
獣医放射線学実習 (農学部獣医学科第6学年に開講している実習)

2. 実験期間
平成26年 4月 1日 ~ 平成27年 3月31日

- 計画書通り承認します。(以後、申請番号を承認番号とします。)
- 承認には計画の変更が必要であり、判定を保留します。
- 実験計画は承認できません。

委員会からの意見

備考

(様式2)

動物実験計画書 (更新)

2014年 3月 25日

宮崎大学 学長 菅沼 龍夫 殿

動物実験責任者

所属 (学部学科等)

農学部獣医学科

申請番号 2010-018-4

職名

教授

内線番号

7280

氏名

浅沼 武敏



1. 動物実験課題名 (具体的に記入してください。) 獣医放射線学実習 (農学部獣医学科第6学年に開講している実習)				
2. 実験期間 開始予定 26年 4月 1日、終了予定 27年 3月 31日				
3. 動物実験実施者 (実験責任者、飼養者等を含め動物実験に関わる全ての者の所属、職名、氏名を記入してください。)				
氏名	所属	職名等	教育訓練受講履歴	
浅沼 武敏	農学部獣医学科	教授	2008-3 清武	
佐藤 裕之	農学部獣医学科	准教授	2009-2 木花	
獣医学科6年生	農学部獣医学科	獣医学科6年生		
4. 動物実験の目的 (実験の具体的手法ではなく、目的の概要がわかるように記入して下さい。)				
<p>実際の犬を対象に、獣医学科6年生の学生にX線、超音波、CT装置と撮影法、読影に関する基礎知識を学ばせ、それぞれの特性を比較し、理解させる。X線装置、超音波、CT、MRI画像診断技術の基本的な原理や考え方を習得させるため、犬を鎮静または麻酔によって保定して撮影する。</p>				
5. 使用動物種	系統	微生物学的品質	上記実験期間中 使用予定頭数	導入元
犬	ビーグル	コンベンショナル	1	自家繁殖
使用動物数の算出根拠 30名の学生に対して、一度に行えるX線撮影および超音波撮影の機械的な限界が2台のため。 当研究室で飼育している犬が1頭のため。				
遺伝子改変動物の導入 <input type="checkbox"/> 有(<input type="checkbox"/> 国内譲渡・ <input type="checkbox"/> 国際譲渡) <input checked="" type="checkbox"/> 無 譲渡元: 改変遺伝子名:		6. 使用施設 (飼育場所、実験場所にわけて記入。) 飼養管理施設 動物舎 実験室 附属動物病院棟X線室H117、診察室V104 および V106、CT室 (部屋番号無し)、産業動物教育研究センターG102MRI室		
7. 倫理的基準に基づいた動物実験の分類 (カテゴリー) A: 生物個体を用いない実験、あるいは微生物を用いた実験。 <input type="checkbox"/> B: 脊椎動物を用い、動物に対してほとんどあるいはまったく不快感を与えないと思われる実験。 <input checked="" type="checkbox"/> C: 脊椎動物を用い、動物に対して軽度のストレスまたは痛み(短時間持続するもの)を伴うと思われる実験。 <input type="checkbox"/> D: 脊椎動物を用い、回避できない重度のストレスまたは痛み(長時間持続するもの)を伴うと思われる実験。 <input type="checkbox"/> E: 無麻酔下の脊椎動物に、耐えうる限界に近い またはそれ以上の痛みを与えらと思われる実験。				
8. 特殊実験区分 (詳細を9-(1)欄に、具体的な安全対策を9-(2)欄に記載)		1. <input type="checkbox"/> 感染実験 安全度分類: <input type="checkbox"/> BSL1 <input type="checkbox"/> BSL2 <input type="checkbox"/> BSL3 (接種微生物) 2. 遺伝子組換え動物 <input type="checkbox"/> 作成実験 <input type="checkbox"/> 接種実験 (区分: <input type="checkbox"/> P1A <input type="checkbox"/> P2A <input type="checkbox"/> P3A) 3. <input checked="" type="checkbox"/> 放射性同位元素・放射線使用実験 (飼育場所: 動物舎 使用核種: X線) 4. <input type="checkbox"/> 化学発癌・重金属・環境汚染物質・毒劇物等投与実験 (投与物質名) 5. <input type="checkbox"/> 細胞等の生体材料移植・接種実験		
9. その他必要または参考事項		(飼養保管施設・実験室の承認状況に加えて、過去の動物実験計画書承認実績、学内の関連委員会(組換え等)への申請状況、飼養保管施設・実験室の承認状況なども適宜記入。) <input checked="" type="checkbox"/> 項目6に記入した飼養保管施設は、宮崎大学学長の承認を受けた施設である。 <input checked="" type="checkbox"/> 項目6に記入した実験室は、宮崎大学学長の承認を受けた施設である。 <input type="checkbox"/> 遺伝子組換え実験安全委員会、 <input type="checkbox"/> 医の倫理委員会、 <input type="checkbox"/> その他 () に申請済み。 承認番号 () <input type="checkbox"/> その他特記事項 (具体的に記入)		

前回許可を受けた実験計画を変更せず継続して実施する場合、本書式に経過報告書を添えて更新申請を行って下さい。

受領日 26.3.26
審査結果通知日

(様式5)

動物実験 経過報告書・終了届

※いずれかに必ず○を付けてください。

平成 27 年 3 月 2 日

宮崎大学 学長 菅沼 龍夫 殿

動物実験責任者

所属 (学部学科等) 農学部獣医学科

承認番号 2010-018-4

職名 教授 内線番号 7280

氏名 浅沼 武敏



1. 動物実験課題名 (承認を受けた課題名を記入してください)

獣医放射線学実習 (農学部獣医学科第6学年に開講している実習)

2. 実験実施期間

予定期間 平成26年 4月 1日 ~ 平成27年 3月 31日

実際の期間 平成26年 4月 1日 ~ 平成27年 3月 31日

3. 使用動物

期間中使用

実際の

予定数との

動物種

系統

予定頭数

使用頭数

差

犬

ビーグル

1

1

0

4. 実験動物の使用予定頭数と実際の使用頭数との間に大きな差があった場合、その理由を記して下さい

5. 動物実験の結果: 計画どおり実施, 一部変更して実施 (変更届が提出されていること), 中止

その他 (具体的に)

結果の概要

獣医学科6年生の獣医放射線学実習にて、無麻酔保定によるX線撮影、吸入麻酔によるCT撮影を行った。

6. 研究成果の公表 (予定、準備中の場合は、その時期も記入して下さい)

(1) 学会等発表 (学会等名、開催期間・場所、演題名、演者名を記入してください)

(2) 論文発表 (雑誌等名、年・巻、論文題名、著者名を記入してください)

(3) その他 (教育講演等について時期、タイトル、場所等の情報を記入してください)

獣医放射線学実習 (農学部獣医学科第6学年に開講している実習)

※記入欄に内容を記入しきれない場合は、用紙を足して記入して下さい。

受領日

27. 3. 3

✓

(様式6)

平成25年 3月29日

動物実験計画審査結果

動物実験責任者

所属 農学部 獣医学科

職名 教授

氏名 浅 沼 武 敏 殿

宮崎大学長

菅 沼 龍 夫

申請番号 2010 - 018 - 3

1. 動物実験課題名

獣医放射線学実習 (農学部獣医学科第6学年に開講している実習)

2. 実験期間

平成25年 4月 1日 ~ 平成26年 3月31日

- 計画書通り承認します。(以後、申請番号を承認番号とします。)
- 承認には計画の変更が必要であり、判定を保留します。
- 実験計画は承認できません。

委員会からの意見

備考

(様式2)

動物実験計画書 (更新)

2013年 3月 28日

宮崎大学 学長 菅沼 龍夫 殿

動物実験責任者

所属 (学部学科等)

農学部獣医学科

申請番号 2010-018-3

職名

教授

内線番号

7280

氏名

浅沼 武敏



1. 動物実験課題名 (具体的に記入してください。) 獣医放射線学実習 (農学部獣医学科第6学年に開講している実習)				
2. 実験期間 開始予定 25年 4月 1日、終了予定 26年 3月 31日				
3. 動物実験実施者 (実験責任者、飼養者等を含め動物実験に関わる全ての者の所属、職名、氏名を記入してください。)				
氏名	所属	職名等	教育訓練受講履歴	
浅沼 武敏	農学部獣医学科	教授	2008-3 清武	
佐藤 裕之	農学部獣医学科	准教授	2009-2 木花	
獣医学科6年生	農学部獣医学科	獣医学科6年生		
4. 動物実験の目的 (実験の具体的手法ではなく、目的の概要がわかるように記入して下さい。)				
<p>実際の犬を対象に、獣医学科6年生の学生にX線、超音波、CT装置と撮影法、読影に関する基礎知識を学ばせ、それぞれの特性を比較し、理解させる。X線装置を中心とした画像診断技術の基本的な原理や考え方を習得させる。</p>				
5. 使用動物種	系統	微生物学的品質	上記実験期間中 使用予定頭数	導入元
犬	ビーグル	コンベンショナル	1	自家繁殖
使用動物数の算出根拠 30名の学生に対して、一度に行えるX線撮影および超音波撮影の機械的な限界が2台のため。 当研究室で飼育している犬が1頭のため。				
遺伝子改変動物の導入 <input type="checkbox"/> 有(<input type="checkbox"/> 国内譲渡・ <input type="checkbox"/> 国際譲渡) <input checked="" type="checkbox"/> 無 譲渡元: 改変遺伝子名:			6. 使用施設 (飼育場所、実験場所にわけて記入。) 飼養管理施設 動物舎 実験室 附属動物病院棟X線室 H117、診察室 V104 および V106、CT室 (部屋番号無し)	
7. 倫理的基準に基づいた動物実験の分類 (カテゴリー) A: 生物個体を用いない実験、あるいは微生物を用いた実験。 <input type="checkbox"/> B: 脊椎動物を用い、動物に対してほとんどあるいはまったく不快感を与えないと思われる実験。 <input checked="" type="checkbox"/> C: 脊椎動物を用い、動物に対して軽度のストレスまたは痛み(短時間持続するもの)を伴うと思われる実験。 <input type="checkbox"/> D: 脊椎動物を用い、回避できない重度のストレスまたは痛み(長時間持続するもの)を伴うと思われる実験。 <input type="checkbox"/> E: 無麻酔下の脊椎動物に、耐えうる限界に近い またはそれ以上の痛みを与えると思われる実験。				
8. 特殊実験区分 (詳細を9-(1)欄に、具体的な安全対策を9-(2)欄に記載)	1. <input type="checkbox"/> 感染実験 安全度分類: <input type="checkbox"/> BSL1 <input type="checkbox"/> BSL2 <input type="checkbox"/> BSL3(接種微生物) 2. 遺伝子組換え動物 <input type="checkbox"/> 作成実験 <input type="checkbox"/> 接種実験 (区分: <input type="checkbox"/> P1A <input type="checkbox"/> P2A <input type="checkbox"/> P3A) 3. <input checked="" type="checkbox"/> 放射性同位元素・放射線使用実験(飼育場所: 動物舎(犬舎) 使用核種: X線) 4. <input type="checkbox"/> 化学発癌・重金属・環境汚染物質・毒劇物等投与実験(投与物質名) 5. <input type="checkbox"/> 細胞等の生体材料移植・接種実験			
9. その他必要 または参考事項	(飼養保管施設・実験室の承認状況に加えて、過去の動物実験計画書承認実績、学内の関連委員会(組換え等)への申請状況、飼養保管施設・実験室の承認状況なども適宜記入。) <input checked="" type="checkbox"/> 項目6に記入した飼養保管施設は、宮崎大学学長の承認を受けた施設である。 <input checked="" type="checkbox"/> 項目6に記入した実験室は、宮崎大学学長の承認を受けた施設である。 <input type="checkbox"/> 遺伝子組換え実験安全委員会、 <input type="checkbox"/> 医の倫理委員会、 <input type="checkbox"/> その他 () に申請済み。 承認番号 () <input type="checkbox"/> その他特記事項 (具体的に記入)			

前回許可を受けた実験計画を変更せず継続して実施する場合、本書式に経過報告書を添えて更新申請を行って下さい。

受領日

審査結果通知日 '25. 3. 28

(様式5)

動物実験 経過報告書

※いずれかに必ず○を付けてください。

平成26年 4月 5日

宮崎大学 学長 菅沼 龍夫 殿

動物実験責任者

所属 (学部学科等) 農学部獣医学科

承認番号 2010-018-3

職名 教授 内線番号 7280

氏名 浅沼 武敏



1. 動物実験課題名 (承認を受けた課題名を記入してください) 獣医放射線学実習 (農学部獣医学科第6学年に開講している実習)				
2. 実験実施期間 予定期間 平成25年 4月 1日 ~ 平成26年 3月 31日 実際の期間 平成25年 4月 1日 ~ 平成26年 3月 31日				
3. 使用動物		期間中使用	実際の	予定数との
動物種	系統	予定頭数	使用頭数	差
犬	ビーグル	1	1	0
4. 実験動物の使用予定頭数と実際の使用頭数との間に大きな差があった場合、その理由を記して下さい				
5. 動物実験の結果: <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり実施, <input type="checkbox"/> 一部変更して実施(変更届が提出されていること); <input type="checkbox"/> 中止 <input type="checkbox"/> その他 (具体的に) 結果の概要 獣医学科6年生の獣医放射線学実習にて、無麻酔保定によるX線撮影、吸入麻酔によるCT撮影を行った。				
6. 研究成果の公表 (予定、準備中の場合は、その時期も記入して下さい) (1) 学会等発表 (学会等名、開催期間・場所、演題名、演者名を記入して下さい) (2) 論文発表 (雑誌等名、年・巻、論文題名、著者名を記入して下さい) (3) その他 (教育講演等について時期、タイトル、場所等の情報を記入して下さい) 獣医放射線学実習 (農学部獣医学科第6学年に開講している実習)				

※記入欄に内容を記入しきれない場合は、用紙を足して記入して下さい。

受領日 26.9.26